



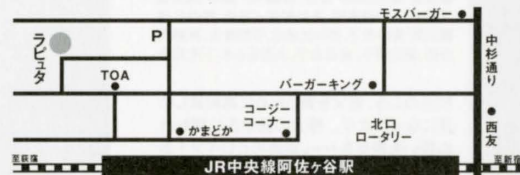
ラピュタ阿佐ヶ谷 スケジュール

2.19[日]~4.15[土]・2017

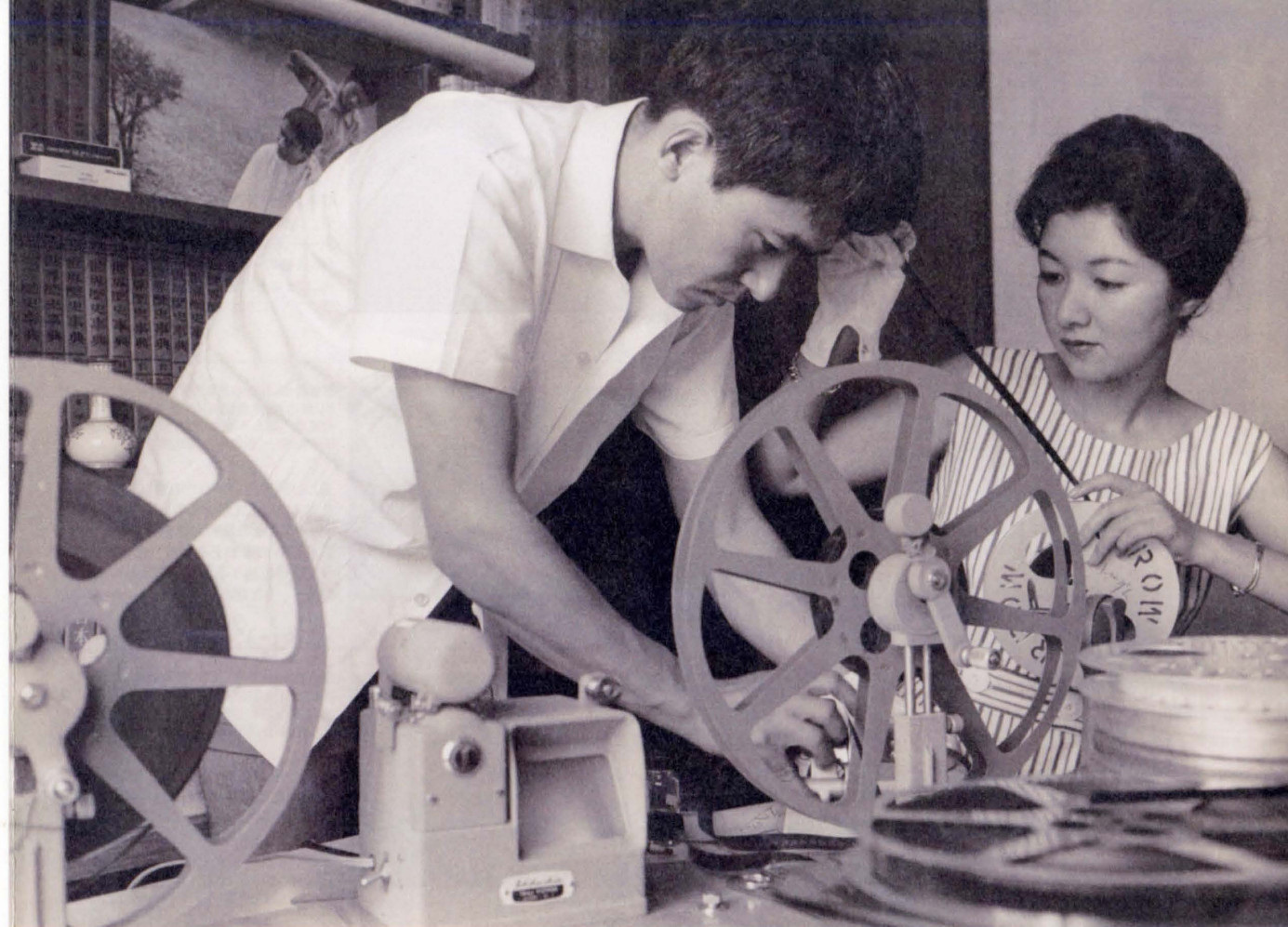
		[モーニング]10:30~	[メイン]	[レイト]9:00~
			松山善三・高峰秀子〜夫婦で歩んだ映画人生	
2月	19[日]~21[火]	《轉瀬晴子》 伊豆の踊子 (87分)	12:40 (86分) 綴方教室	2:30 (106分) 六條ゆきやま軸
	22[水]~25[土]		12:20 (106分) 六條ゆきやま軸	2:30 (104分) 無法松の一生
	26[日]~28[火]	明日はいっぱいの果実 (88分)	12:40 (71分) 秀子の應援團長	2:20 (127分) 馬
3月	1[水]~4[土]		12:40 (108分) われ一粒の麦なれど	3:00 (86分) カルメン故郷に帰る
	5[日]~7[火]	狐銃 (98分)	12:40 (83分) 浦島太郎の後裔	2:30 (122分) 娘・妻・母
	8[水]~11[土]		12:30 (103分) カルメン純情す	2:40 (108分) われ一粒の麦なれど
	12[日]	母と娘 (86分)	12:50 (104分) 雁	3:50 (111分) 女の座
	13[月]・14[火]		1:00 雁	3:30 女の座
	15[水]~18[土]		1:00 二十四の瞳	4:10 (123分) 放浪記
	19[日]~21[火]	春の山脈 (72分)	12:20 (85分) 花ひらく 真知子より	2:10 (123分) 放浪記
	22[水]~25[土]		1:00 (118分) 典子は、今	3:30 (117分) 笛吹川
	26[日]	三人娘乾杯! (90分)	1:00 (108分) 春の戯れ	4:10 (129分) 名もなく貧しく美しく
	27[月]・28[火]		1:00 春の戯れ	3:30 名もなく貧しく美しく
4月	29[水]~1[土]		1:00 (116分) 張込み	3:30 (118分) 典子は、今
	2[日]~4[火]	晴子の応援団長 (64分)	1:00 戦場にながれる歌	4:00 (114分) 父と子 続・名もなく貧しく美しく
	5[水]~8[土]		12:20 (114分) 父と子 続・名もなく貧しく美しく	2:40 (94分) ひき逃げ
	9[日]~11[火]	この空のある限り (88分)	12:30 (110分) ふたりのイーダ	2:50 (100分) その人は昔
	12[水]~15[土]		12:30 (98分) ぶらりぶらぶら物語	2:30 (123分) 浮雲

[当日] 一般…1,200円 シニア・学生…1,000円
会員…800円 3回券…2,700円
水曜サービスデー…1,000円均一

●各回定員入れ替え制 ●午前10時15分より当日の全回分の整理番号付き入場券を発売します。定員48名になり次第、締め切らせていただきます。●上映開始後10分を過ぎてのご入場はお断りさせていただきます。●作品により画像、音声が必要しも良好でない場合がございます。あらかじめご了承ください。



ラピュタ阿佐ヶ谷 TEL 03-3336-5440 JR中央線阿佐ヶ谷駅北口徒歩2分
http://www.laputa-jp.com/



松山善三

高峰秀子

夫婦で歩んだ映画人生

2017年2月19日[日]~
4月15日[土]

ラピュタ阿佐ヶ谷

綴方教室／六條ゆきやま軸／無法松の一生
馬／母／秀子の車掌さん／秀子の應援團長
カルメン故郷に帰る／われ一粒の麦なれど
娘・妻・母／花つみ日記／浦島太郎の後裔
カルメン純情す／雁／女の座／二十四の瞳
放浪記／東京の合唱／花ひらく 真知子より
笛吹川／典子は、今／名もなく貧しく美しく
春の戯れ／張込み／戦場にながれる歌
父と子／続・名もなく貧しく美しく／ひき逃げ
ふたりのイーダ／その人は昔／浮雲／恍惚の人
ぶらりぶらぶら物語

高峰秀子

夫婦で歩んだ映画人生

松山善三

残された作品からおふたりの足跡を辿ります。

ともに支え、ともに歩む――

戦前戦後を通じ類稀なる活躍をみせた高峰秀子。数々のヒューマンドラマを世に送りだした映画監督 脚本家の松山善三。婚約発表時、世紀の格差婚と騒がれてられたこのカップルは、実に56年の歳月を添い遂げ、日本映画界きってのおしどり夫婦として知られた。

無法松の一生

1958年(S33)／東宝／カラー／104分



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：稲垣浩／原作：岩下俊作／脚本：伊丹万作／撮影：山田一夫／美術：植田寛／音楽：團伊玖磨 ■出演：三船敏郎、高峰秀子、芥川比呂志、飯田蝶子、笠智衆、多岐良純、田中春男

暴れん坊だが心優しい九州小倉の名物男、人力車夫・松五郎の波乱に満ちた生涯――。稲垣浩監督が1943年に製作した『無法松の一生』を色彩版として再映画化。ヴェネチア国際映画祭の金獅子賞（グランプリ）に輝いた。

馬

1941年(S16)／東宝映画東京／白黒／127分



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：山本嘉次郎／撮影：唐沢弘光、三村明、鈴木博、伊藤武夫／美術：松山崇／音楽：北村道章 ■出演：高峰秀子、藤原竜太、月久千恵子、丸山定夫、沢村貞子、清川虹子

貧しい農家の娘がひたむきな愛情で仔馬を育てあげ、立派な軍馬として世に送り出す――。東北の農村で長期ロケが行われ、春夏秋冬の撮影をそれぞれ四人の名カメラマンが担当するという贅沢なつくり。高峰秀子、少女期の最高傑作。

母

1929年(S4)／松竹蒲田／白黒／無声／35分 ※16mm・不完全



写真提供：マツダ映画社

■監督：野村芳亭／原作：鶴見祐輔／脚本：柳井隆雄／潤色：野田高梧／撮影：小田浜太郎 ■出演：島田嘉七、川田芳子、小藤田正一、高峰秀子、河村黎吉、奈良真貴、宮城雄一、八雲恵美子

生みの母、育ての母、義理の母というお涙頂戴の母もの映画で空前の大ヒットを記録。当時5歳の高峰秀子の愛らしい姿も評判となり、たちまち松竹を代表する子役としてひっぱりだこに。不完全ながらデビュー時の姿がみられる貴重な一本。

秀子の車掌さん

1941年(S16)／南旺映画／白黒／54分



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：成瀬巳喜男／原作：井伏鱒二／撮影：東健／美術：小池一美／音楽：飯田信夫 ■出演：高峰秀子、藤原竜太、夏川大二郎、清川玉枝、勝見庸太郎、馬野都留子、末岐洲、榊田敬治

ある山間の田舎町を舞台に、バスの運転手と女車掌が仲むね客足をなんとかしようとする――。井伏鱒二の小説『おこまさん』の映画化。後年、高峰秀子主演で数々の名作をうむ成瀬巳喜男監督とはこれが初顔合わせ。

秀子の應援團長

1940年(S15)／南旺映画／白黒／71分



©TOHO CO.,LTD.

○東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品 ■監督：千葉泰樹／原作：高田保／脚本：山崎謙太／撮影：中井朝一／美術：小池一美／音楽：佐々木俊一 ■出演：高峰秀子、音羽久米子、灰田勝彦、若原春江、千田是也、小杉義男、沢村貞子

野球好きのお嬢さんが、弱小プロ球団の応援歌をつくってみごとチームを勝利へと導いていく――。アイドルもののお手本のような明るく楽しい仕上がりで、巨匠軍、東京セネタース等当時の選手たちが多数出演している。

カルメン故郷に帰る

1951年(S26)／松竹大船／カラー／86分



©1951 松竹株式会社

■監督・脚本：木下恵介／撮影：楠田浩之／美術：小島基司／音楽：木下忠司 ■出演：高峰秀子、小林トシ子、佐野周二、笠智衆、佐田啓二、井川邦子、望月美恵子、三井弘次、坂本武

故郷に里帰りした陽気なストリッパーが、派手な服装と突飛な行動で巻き起こす珍騒動――。本作を契機に高峰秀子は新東宝の専属を離れて独立。少々頭脳弱いヒロインを、天真爛漫、のびのびと演じて青春期最後を飾った。

われ一粒の麦なれど

1964年(S39)／東京映画／白黒／108分



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：松山善三／撮影：村井博／美術：狩野健／音楽：佐藤勝 ■出演：小林桂樹、高峰秀子、水谷良重、大村崑、大辻伺郎、木村功、田崎潤、田中春男、菅井さん、市原悦子、毛利菊枝

小児麻痺の大流行に一人の男が敢然と立ち上がり、民衆を動かし、政府を動かし、ついにたくさんの子供を救う――。当時大きな社会問題となっていたポリオ病を題材に、松山善三監督がドキュメンタリー手法を駆使して映画化。

娘・妻・母

1960年(S35)／東宝／カラー／122分



©TOHO CO.,LTD.

■監督：成瀬巳喜男／脚本：井手俊郎、松山善三 撮影：安本淳／美術：中古智／音楽：斎藤一郎 ■出演：原節子、高峰秀子、森雅之、小泉博、宝田明、淡路恵子、団令子、仲代達矢

東京山の手のある中流家庭。一見幸福そうだが、金銭面の問題から家族の絆に亀裂が生じてしまう――。物語は井手俊郎と、成瀬組初参加となる松山善三のオリジナル脚本。オールスタア競演のほろ苦いホームドラマ。

花つみ日記

1939年(S14)／東宝映画京都／白黒／73分



©TOHO CO.,LTD.

■監督：石田民三／原作：吉屋信子／脚本：鈴木紀子／撮影：山崎一雄／美術：河東安英／音楽：鈴木静 ■出演：高峰秀子、清水美佐子、真原邦子、林喜美子、進藤英太郎、御所京子

花街の置屋の娘・高峰秀子と、東京からの転校生・清水美佐子のせつない交友――。原作は吉屋信子の代表作のひとつ。十五〜十六歳の少女たちの繊細な心理が、戦前大阪の街並のなかで鮮やかに描かれる乙女映画の決定版。

浦島太郎の後裔

1946年(S21)／東宝／白黒／83分



©TOHO CO.,LTD.

○東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品 ■監督：成瀬巳喜男／脚本：八木隆一郎／撮影：山崎一雄／美術：安倍晴明／音楽：山田和男 ■出演：藤田進、高峰秀子、山根寿子、菅井一郎、杉村春子、宮口精二、中村伸郎、三津田健

珍奇な雄叫びをあげる髭もじゃ復員兵が、マスコミに煽られ国民的英雄になる――。成瀬巳喜男監督の戦後第一作は、民主主義の啓蒙を目的とした社会風刺劇。高峰秀子は大新聞の婦人記者役でこの謎の男に絡む。

カルメン純情す

1952年(S27)／松竹大船／白黒／103分



©1952 松竹株式会社

■監督・脚本：木下恵介／撮影：楠田浩之／美術：浜田辰雄／音楽：黛敏郎、木下忠司 ■出演：高峰秀子、若原雅夫、淡島千景、小林トシ子、斎藤達雄、東山千栄子、村瀬幸子、三好栄子

浅草に戻ってきたストリッパーのリリー・カルメンは、ひょんなことからある芸術家青年と出会い、ひと目惚れ!ワブで不器用ながらも可愛い恋模様が続いていく。ヒット作『カルメン故郷に帰る』(1951年)の続編。

雁

1953年(S28)／大映東京／白黒／104分 ※16mm



©KADOKAWA 1953

■監督：豊田四郎／原作：森崎外／脚本：成澤昌茂／美術：伊藤嘉明、木村威夫／音楽：團伊玖磨 ■出演：高峰秀子、芥川比呂志、宇野重吉、東野英治郎、飯田蝶子、浦辺象子、小田切みき、三宅邦子

明治のころ、老父を養うために高利貸しの妻になった女が、帝大の医学生に報われぬ想いを寄せる――。薄情のヒロイン・お玉に高峰秀子、美男子・岡田に芥川比呂志が扮して、ロマンの香気漂う關西文学の神髓に挑む。

女の座

1962年(S37)／東宝／白黒／111分



©TOHO CO.,LTD.

■監督：成瀬巳喜男／脚本：井手俊郎、松山善三 撮影：安本淳／美術：中古智／音楽：斎藤一郎 ■出演：高峰秀子、司葉子、星由里子、団令子、草笛光子、宝田明、小林桂樹、夏木陽介、笠智衆

シナリオは井手俊郎、松山善三の共同オリジナルシナリオ。小正月興行らしい豪華キャストの大家族劇で、高峰秀子は家庭内で唯一の他人ともいうべき長男の未亡人役。彼女を軸に、兄弟姉妹の思惑が交錯する様を丁寧にみせていく。

二十四の瞳

1954年(S29)／松竹大船／白黒／155分



©1954 松竹株式会社

■監督・脚本：木下恵介／原作：壺井栄／撮影：楠田浩之／美術：中村公彦／音楽：木下忠司 ■出演：高峰秀子、田村高廣、天本英世、三益愛子、小林トシ子、笠智衆、夏川静江、浦辺象子

瀬戸内海に浮かぶ小豆島を舞台に、女教師と十二人の児童が繰り広げるあたたかな交流の物語――。この撮影中に、助監督だった松山善三が勇気を奮って大女優・高峰秀子に交際を申込み、翌年結婚に至ったという「縁結び」の一本。

放浪記

1962年(S37)／宝塚映画／白黒／123分



©TOHO CO.,LTD.

■監督：成瀬巳喜男／原作：林芙美子／脚本：井手俊郎、田中澄江／撮影：安本淳／美術：中古智 音楽：古岡裕而 ■出演：高峰秀子、宝田明、加東大介、小林桂樹、田中絹代、草笛光子

行商人として各地を歩き、東京でカフェの女給などやりながら文学を志す――。林芙美子の自伝的小説を映画化。高峰秀子は原作者の特徴をみごとに表現し、苦難にさいなまれつつも小説を書き続ける芯の強い女性を好演。

東京の合唱

1931年(S6)／松竹蒲田／白黒／無声／91分



©1931 松竹株式会社

■監督：小津安二郎／原案：脚本：北村小松／原案：脚本：潤色：野田高梧／撮影：茂原英郎／美術：脇田世一 ■出演：岡田啓彦、八雲恵美子、菅原秀雄、高峰秀子、斎藤達雄、飯田蝶子、坂本武

不況下で仕事を失った男が、家族や知人に支えられながら再起を図る――。北村小松の原作を野田高梧が脚色し小津安二郎が監督したサイレント映画。長女に扮するのは当時7歳、子役時代の高峰秀子。おかつは頭がかわいい。

花ひらく 真知子より

1948年(S23)／新東宝／白黒／85分



©TOHO CO.,LTD.

○東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品 ■監督：市川崑／原作：野上弥生子／脚本：八住利雄／撮影：小原譲治／美術：河野鷹盛／音楽：早坂文雄 ■出演：高峰秀子、上原謙、藤田進、三村秀子、村田知英子、吉川漢子、田中春男

昭和初期、学生運動の闘士に惹かれていく名門ブルジョア娘の恋のゆくえ――。原作は野上弥生子の小説『真知子』。『高峰秀子主演で新しい女性映画を』としてつくられた、市川崑監督の本格的な長篇映画デビュー作。

笛吹川

1960年(S35)／松竹大船／バートカラー／117分



©1960 松竹株式会社

■監督・脚本：木下恵介／原作：深沢七郎／撮影：楠田浩之／美術：伊藤嘉明、江崎孝博／音楽：木下忠司 ■出演：田村高廣、高峰秀子、市川崑五郎、中村万之助、若下志麻、川津祐介

時は戦国、笛吹川河畔に暮らす貧農一族の五代にわたる歴史を描いた主人公。前作詩――。原作は深沢七郎。数々の作品で木下恵介監督との名コンビを謳われた高峰秀子が、十代の娘役から八十代の老け役までをこなし圧巻。

典子は、今

1981年(S56)／キネマ東京、シバフィルムプロモーション／カラー／118分 ※DVD



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：松山善三／撮影：石原真／美術：倉橋利昭／音楽：森岡賢一郎 ■出演：辻典子、渡辺美佐子、長門裕之、河原崎長一郎、伊豆肇、鈴木瑞穂、櫻山文枝、下條正巳、鈴木光枝、三上真

サリドマイド薬害で両親がなま生まれの辻典子さんの半生を、本人主演で映画化した作品として注目された。辻さんの演技指導には高峰秀子があたり、松山善三監督をサポート。

名もなく貧しく美しく

1961年(S36)／東京映画／白黒／129分



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：松山善三／撮影：玉井正夫／美術：中古智、狩野健／音楽：林次 ■出演：小林桂樹、高峰秀子、草笛光子、加山雄三、沼田曜一、原泉、高橋昌也、藤原釜足、中北千枝子、荒木道子

戦争末期から戦後にかけての苦難の時代に、題名どおり、名もなく貧しく美しく生きていく豊唾者夫婦の姿を描いた愛と感動の物語――。松山善三、オリジナル脚本で監督デビュー。主役二人の熟演も相まって感銘深い作品に。

春の戯れ

1949年(S24)／映画芸術協会、新東宝／白黒／108分



©国策映画

○東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品 ■監督・脚本：山本嘉次郎／撮影：山崎一雄／美術：松山崇／音楽：早坂文雄 ■出演：高峰秀子、野重吉、徳川夢声、三島雅夫、江川宇礼雄、飯田蝶子、鳥羽陽之助、一宮あつ子

海の彼方に憧れて恋をふりきり船出する若者と、彼との想い出を胸にしまい商家の旦那に嫁ぐ娘――。マルセル・パニョルの名作『マリウス』を翻案した港町ロマン。ファニー役お花を高峰秀子が好演し、大人の女優として太鼓判を押された。

張込み

1958年(S33)／松竹大船／白黒／116分



©1958 松竹株式会社

■監督：野村芳太郎／原作：松本清張／脚本：橋本忍／撮影：井上晴二／美術：逆井清一郎／音楽：斎敏郎 ■出演：大木実、田村高廣、宮口精二、高峰秀子、高千穂ひづる、藤原釜足

逃亡した殺人犯を逮捕すべく九州へと赴いた二人の刑事――。追う者、追われる者の息づまる対決が描かれる、松本清張原作の傑作サスペンス。高峰秀子は犯人の元恋人役をおさえた演技で痛切に演じて、代表作のひとつとした。

戦場にながれる歌

1965年(S40)／東宝／カラー／131分



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：松山善三／原作：音楽：團伊玖磨／撮影：中井朝一／美術：中古智 ■出演：加山雄三、久保明、児玉清、二瓶正也、真塩洋一、小林桂樹、佐藤久、加東大介、藤山陽子、張美瑠、森繁久彌

敗戦色の濃くなった時勢に陸軍戸山学校軍楽隊に入隊した若者たち。猛訓練の末、戦線に送りだされ熾烈な戦争を体験していく――。作曲家・團伊玖磨の随想『陸軍軍楽隊始末記』を下敷きに松山善三が脚本、演出したヒューマンドラマ。

父と子 続・名もなく貧しく美しく

1967年(S42)／東京映画／白黒／114分



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：松山善三／撮影：岡崎宏三／美術：小野友弘／音楽：船村和 ■出演：小林桂樹、北大路欣也、内藤洋子、田村亮、大空真弓、加東大介、原泉、乙羽信子、高峰秀子

社会的に大きな反響を呼びおこした『名もなく貧しく美しく』(1961年)の続編。前作から十数年後――、大きく成長した息子を主人公に、就職や縁談等、豊唾者夫婦の間に生まれた子供が受ける様々な差別と苦悩、そして救済を描いている。

ひき逃げ

1966年(S41)／東宝／白黒／94分



©TOHO CO.,LTD.

■監督：成瀬巳喜男／脚本：松山善三／撮影：西垣六郎／美術：中古智／音楽：佐藤勝 ■出演：高峰秀子、司葉子、加東大介、黒沢年男、中山仁、賀原夏子、小沢栄太郎

交通事故で息子を失った女が、加害者の家に家政婦として潜りこみ復讐を果そうとする――というサスペンス風の悲劇。脚本は松山善三のオリジナルで、タイトル通り、激化する交通戦争問題をテーマに取りあげている。

ふたりのイーダ

1976年(S51)／映画「ふたりのイーダ」プロダクション／カラー／110分 ※16mm



©実プロダクション

■監督・脚本：松山善三／原作：松谷みよ子／脚本協力：山田洋次／撮影：中川芳久／美術：村木忍 音楽：木下忠司 ■出演：上原謙一、原口祐子、倍賞千恵子、高峰秀子、森繁久彌、宇野重吉(声)

夏休みに広島の日田町を訪れた兄妹が、持ち主だった少女“イーダ”の帰りを待ち続ける不思議なイースに遭遇する――。原爆の悲劇を語りつづ松谷みよ子の児童文学の傑作を、松山善三監督が大胆かつ繊細に映画化。

その人は昔

1967年(S42)／東京映画／カラー／100分



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：松山善三／撮影：岡崎宏三／美術：朝倉摂、広瀬五郎／音楽：船村和 ■出演：舟木一夫、内藤洋子、山田康司、金子静男、大木敬三、鈴木和夫、中里真二郎、中野啓介、中野華三

北海道で出会った純朴な若い男女が、幸福な生活を求めて上京するも冷たい都会に翻弄される――。舟木一夫デビュー三周年記念企画『コード「このころのステロ」その人は昔――東京の空の下で』をモチーフにした音楽映画。

浮雲

1955年(S30)／東宝／白黒／123分



©TOHO CO.,LTD.

■監督：成瀬巳喜男／原作：林芙美子／脚本：水戸洋子／撮影：玉井正夫／美術：中古智／音楽：斎藤一郎 ■出演：高峰秀子、森雅之、岡田茉莉子、中北千枝子、木匠マユ子、山形勲、加東大介

戦時中、赴任先の仏印で愛人関係にあった男女が、引き揚げ後再会、くされ縁に結ばれて止めなく墮ちていく様を深々と描ききった珠玉の名篇。結婚を控えた高峰秀子が「これが最後」と密かに引退を決意して臨んだという。

恍惚の人

1973年(S48)／芸苑社／白黒／102分



©TOHO CO.,LTD.

■監督：豊田四郎／原作：有吉佐和子／脚本：松山善三／撮影：岡崎宏三／美術：小島基司／音楽：佐藤勝 ■出演：森繁久彌、高峰秀子、田村高廣、乙羽信子、杉葉子、篠田弘子、市川崑

誰もが迎える「老い」をみつめ、様々な問題を投げかけた有吉佐和子のベストセラーを映画化。認知症を発症し奇行を繰り返す老父と、彼の世話をする嫁。ふたりの日常を、介護問題を越えて、人間そのものの魂のふれあいとして描く。

ぶらりぶらぶら物語

1962年(S37)／東京映画／カラー／98分



©TOHO CO.,LTD.

■監督・脚本：松山善三／撮影：村井博／美術：村木忍／音楽：林次 ■出演：小林桂樹、高峰秀子、団令子、三木のり平、金子吉延、坂部尚子、桂小金治、西村晃、佐々木、市原悦子、八波ひと志

南は九州をふりだしに、自由を求めて日本国中ぶらり旅に飛びだした主人公。二人の子供を道づかに、愉快